

浜頓別高等学校の活動を紹介します

浜頓別高等学校 冊 2 - 2109

▶一学年が「救命救急講習」を実施

「救命救急講習」が12月9日、一学年を対象に本校で実施されました。

これは、「総合的な学習の時間」の一環として、人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの使い方など、救命法（心肺蘇生法）を体験的に学習してもらおうと毎年この時期に開かれています。

浜頓別消防支署の職員5名の方を講師に招き、この日は講師紹介およびあいさつの後に1時間の講義を受け、その後5つのグループに分かれて人工呼吸法や心臓マッサージ、AEDの取り扱いなどの体験学習を行いました。

生徒は最初は戸惑いながらも、真剣な態度でダミー人形を相手に実技に取り組んでいました。

なお、受講生徒には後日、修了証が手渡されました。



▶本校で「性に関する講話」を実施

12月5日、本校において「性に関する講話」が開かれました。

これは専門家による講演を通じて正しい知識を学び、性の問題を考えるきっかけにってもらおうと毎年開かれています。

この日は市立稚内病院の川村光弘副院長を講師に招き、男女の身体の違いや、なぜ性教育が必要なのか、さらには近年の性に関する諸問題について講話がありました。

川村氏は、「性に関する問題は決して遠い話ではない。子供を産み育てるということは命をつなぐ上で大切なことです」と話し、生徒も真剣に聞き入っていました。

最後に、生徒会保健専門委員長の菅原由衣さんが「自覚と責任をもった生活をしていきたい」と川村先生にお礼を述べ、終了しました。



家庭・職場で防災について話し合おう

防災だより

浜頓別町は、比較的自然災害が少ない地域ですが、日本は世界的にみても自然災害（地震・台風・土砂災害等）の多い国です。近年では温暖化の影響と言われている地球規模での異常気象による自然災害が多数発生し、これまでにない大きな被害がでています。

「自分の住んでいる地域は今まで災害はなかったから大丈夫」という油断が大きな被害につながります。自然災害の発生を止めることはできませんが、事前に防災対策を行っておくことで、被害を軽減させることはできます。もう一度、家庭・家族で防災について話してみませんか？

■家庭・職場で災害時のために決めておきたいこと

○集団生活の最小単位である家庭・職場において日頃から定期的に防災対策について話し合っておきましょう。

役割等を話し合っているだけで、災害時に迅速に行動ができるようになります。

①一人ひとりの役割分担を決めておきましょう

災害時に誰が何をするのかを一人ひとり分担して決めておきましょう。

（災害の状況確認・火の元の確認・非常持出品の準備等）

②家屋の危険箇所のチェック

③非常持出品のチェックと入れ替え

（日頃から非常持出品を準備し、定期的に入れ替え作業をしましょう。）

④災害時の連絡方法や避難場所を確認しておきましょう。

（どこに避難すべきか、家族が離ればなれになったときの連絡方法を決めておきましょう。）





こんにちは



赤ちゃん



ほわが
平中 帆若ちゃん
平成22年7月7日生

父～克朋さん
母～和恵さん
住所～南3条3丁目

両親から～

最近、とてもイタズラっ子な帆若。
元気いっぱいな事は良いことです。
これからも お兄ちゃんと仲良く 明るい帆若でいて下さい。



広 報 はまとなべコ

浜頓別町役場

〒098-5792

北海道枝幸郡浜頓別町中央南1番地

TEL (01634)2-2345(代表)

FAX (01634)2-4766(代表)

浜頓別町役場公式ホームページ

<http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>



東経 142° 8' ~ 142° 30'

北緯 44° 16' ~ 45° 11'

面積 401.56 km²



善意ありがとうございます

○社会福祉協議会へ
・高木 清さん 北3条6丁目
3万円

○給食センターへ
・地産地消推進委員
牛肉100kg

